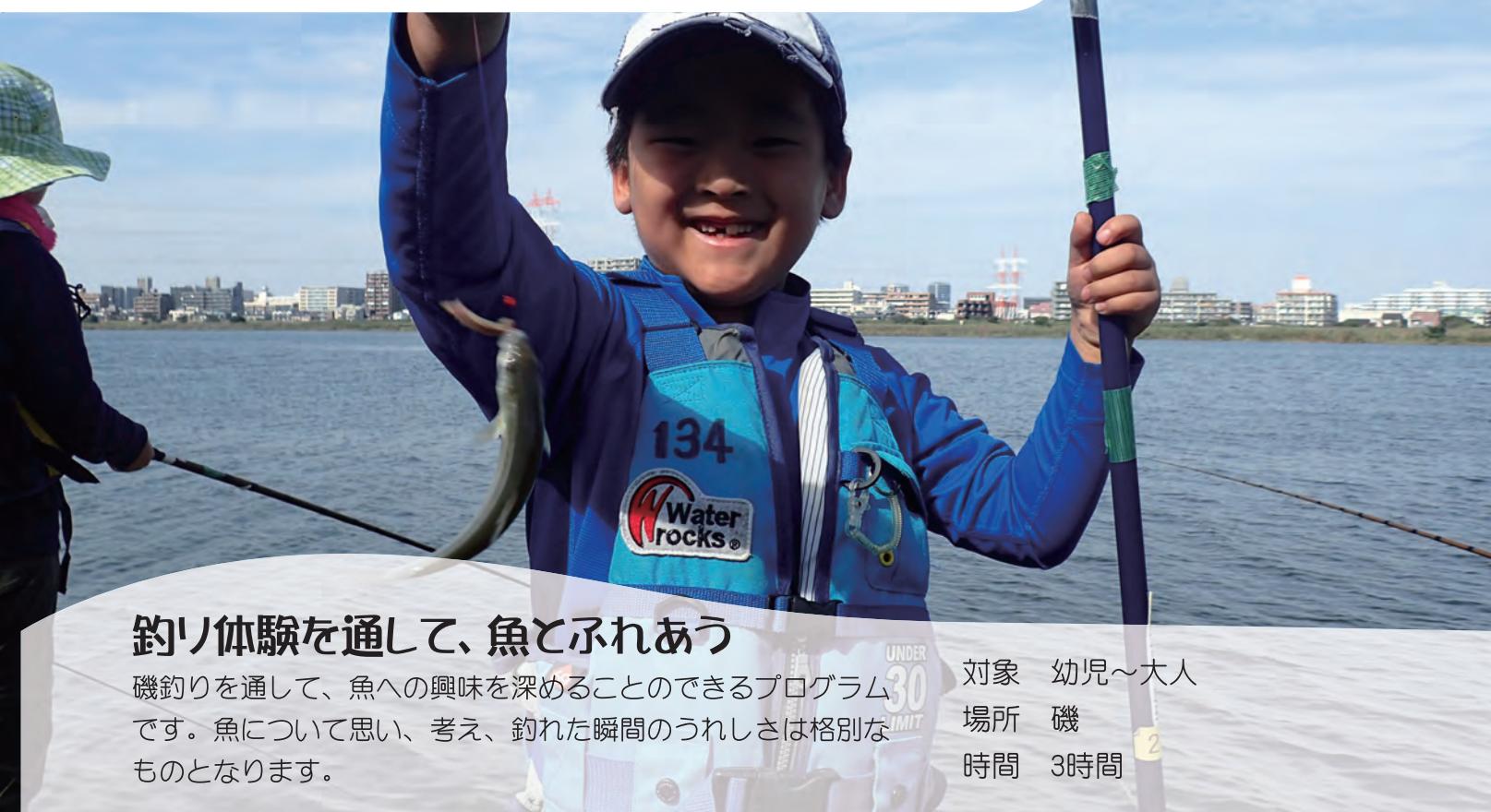




# 磯釣り名人になろう！



## 釣り体験を通して、魚とふれあう

磯釣りを通して、魚への興味を深めることのできるプログラムです。魚について思い、考え、釣れた瞬間のうれしさは格別なものとなります。

対象 幼児～大人

場所 磯

時間 3時間

## ステップ1. 前準備

### 1. 用意するもの

参加者(人数分) スタッフ

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| ①釣り竿セット         | ④水槽・プラケース  |
| ②エサ(イソメ・オキアミなど) | ⑤エアレーション装置 |
| ※プログラム中調達しても可   | ⑥画用紙・メモ帳   |
| ③バケツ            | ⑦マジックペン    |

※その他に着替え・帽子・タオル・日焼け止めなど活動のしやすい服装や道具を用意する。



### 2. 事前の準備

#### 釣り方を確認しよう！

- 磯は場所によって釣れる種類が異なります。事前に適したエサや仕掛けを調べ、釣れるかどうか確認しましょう。



#### 実施場所の安全確認

- 磯には陸でも足場が悪く、滑りやすい場所があります。場所の確認を怠らず、実施中も注意を促してください。
- 釣りをする範囲をあらかじめ決めておき、スタッフ間で共有しましょう。

- 釣り場の中央付近にスタッフの常駐する本部を設置し、水槽などで釣った魚を観察できるようにしましょう。



# 2024年春の本番！

## 1. 参加者にルールを伝えよう！(約30分)

参加者がそろい挨拶を済ませたら、釣り竿の使い方・エサのつけ方を実演しながら共有しましょう。この時複数のスタッフを配置し、苦戦している参加者のフォローができるようにします。

また、釣りのマナーや釣り針の危険性についても伝えてください。

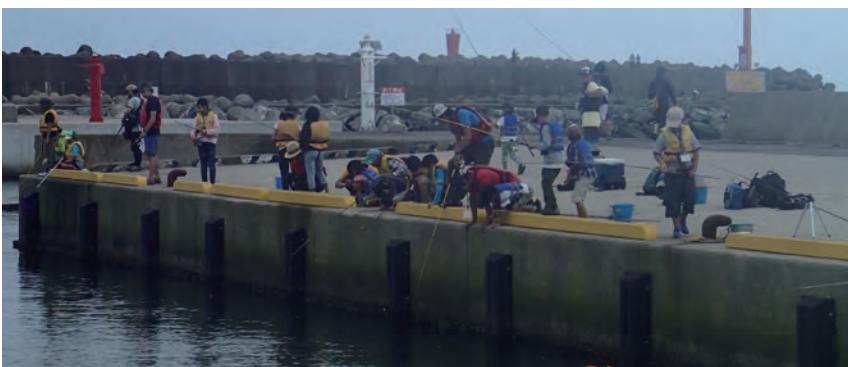


## 2. 磯で釣り体験！(約100分)

釣り場所を確認したら釣りを始めましょう。実施中、エサの生物を磯で探して使うとより楽しめるでしょう。※生物採集についてはp. 30参照。

釣れた魚はスタッフが水槽で展示しましょう。紙に種名や特徴を書いてそばに置いておくと良いでしょう。スタッフは釣り場の安全管理と、本部での情報集約・タイムキープに分かれて実施します。

終了の際は、10分前に連絡をして釣り具をたためるようにしましょう。



## 3. 釣果発表！(約50分)

終了したら、今回の釣果を共有しましょう。水槽の魚を観察させながら、種類や生態について解説を行います。この時、参加者の釣れた体験などを聞きながら実施するとそれぞれの経験を共有でき、より理解が深まるでしょう。また、大きな魚やたくさん釣れた参加者を表彰してあげてもいいかもしれません。

※実施後は会場にゴミが残っていないか参加者とともに確認しましょう。

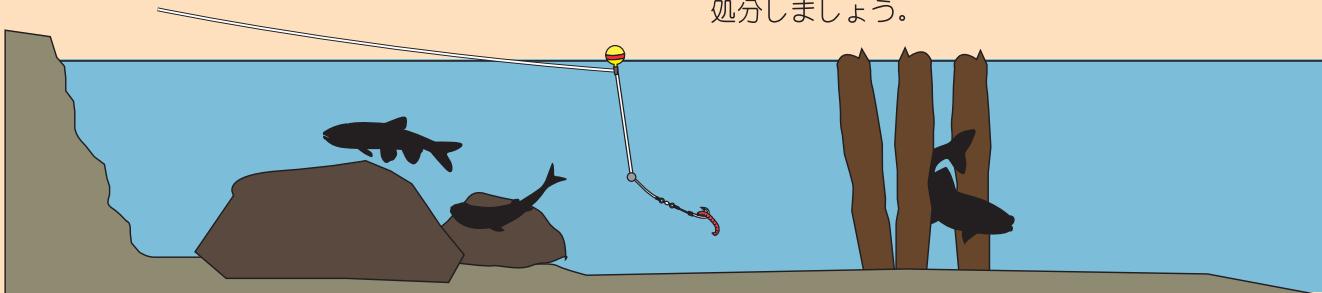


### ココがポイント

#### 魚のいる場所を考えながら釣る

魚は岩など隠れ家の多い場所に潜んでいます。

水が透明であれば底を見て、複雑な地形の場所を選択しましょう。



#### 実施場所の環境を守ろう！

- 釣り糸などゴミを放置すると、魚や鳥などに大きな影響を残す場合があります。必ずゴミは残さず、キレイにしましょう。
- 残った活きエサなども磯に逃がすと、元の生態系を壊して悪影響を与える場合があります。持ち帰って処分しましょう。